

# 桜真

NO.57

2024(令和6)年2月15日発行  
岩瀬日本大学高等学校  
<https://www.tng.ac.jp/iwase/>  
父母と教師の会  
〒309-1453  
茨城県桜川市友部1739  
TEL 0296-75-2242  
FAX 0296-75-4905



## 写真コンテスト 入選

日本大学理工学部  
交通システム工学科主催  
写真コンテスト2023  
入選作品

### 「雪国始業」



2年1組 仙波 悠人

日本大学理工学部交通システム工学科主催の写真コンテスト2023「井交通再発見」で、仙波悠人さんの作品「雪国始業」が入選しました。

仙波さんは、昨年3月早朝に栃木の家を出て、日光鬼怒川温泉駅に行き、地元真岡市で走っていた機関車の車両を撮影したそうです。

「雪国始業」と題されたこの写真は、早春の寒さで手がかじかんで感覚がなくなりながら、朝靄の中駅員が車両に乗り込む一瞬を捉えたものです。

岩日ではソーシャルメディア部に所属し、新聞製作のために学校行事で多くの写真を撮影している仙波さん。カメラは個人所有の一眼レフで、私的には鉄道写真を撮影するのが好きだそうです。仙波さんは「思い出の被写体だったので、自分の手で撮って評価されたのはとても嬉しいです。車両だけでなく、人と鉄道をからめた写真を撮ってみたいですね」と今後の抱負を述べています。

## ハワイ英語研修

1年3組 大和田佑翔

私は7月12日から21日まで第45回ハワイ英語研修に行きました。初めての海外だということと、授業が全部英語だということに緊張しましたが、とても刺激的で楽しかったです。授業だけでなく、アリゾナ記念館へ行ったたり、ダイヤモンドヘッド登頂、ウクレレやフラダンスを習ったりしました。上手に英語を話すことはできなかったのですが、ジェスチャーで積極的にコミュニケーションをとりました。



## ケンブリッジ英語研修

2年6組 大久保純真

私は、今回のイギリス研修で学んだことがたくさんあります。その中でも最も大事だと感じたことは、分からないことを恥ずかしながら友達に聞き、乗り越えていくということです。

当初はお互い友達がいない状況でしたが、緊張しながら学校についての話をしていくうちに、気づけば仲良くなり他愛のない話ができるようになっていきました。イギリスで過ごすにあたって、もちろん分からない単語などが多くありました。しかし友達と助け合い、教え合いながら、楽しく、無事に、そして有意義に2週間を過ごすことができました。今回学んだことを活かし、より一層学習などに入りたいです。



## 蓼科林間学園共同宿泊学習

1年2組 高橋 愛生

「スマホが使えない中、山奥で2泊3日する」そのような蓼科宿泊学習に対し、私たちは不安もありましたが、とても楽しみにしていました。

10月10日。学校を出発し、バスの中ではみんなワクワクが止まらずたくさん話をしました。宿舎では栄養満点でおいしい食事をいただき、同じ部屋の友達といろいろ話をして賑やかに過ごしました。また、そばの手作り体験で腕が筋肉痛になったり、向かい風の中、山を登ったりと、少し過酷な場面もありました。

宿泊学習を通して、仲間との友情が深まったと思います。大自然の中で共に笑ったり汗をかいたり、たくさん思い出を作ることができて楽しかったです。

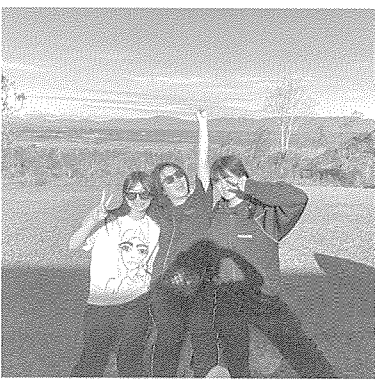


## オーストラリア修学旅行

修学旅行委員  
2年2組 馬場 姫乃

10月9日から4泊5日。岩田ではコロナが開けて4年ぶりとなる海外修学旅行に行きました。私が一番印象に残ったことは、ファームステイです。日本とは全く違った文化に苦労しましたが、ファームステイ先でホストファミリーとコミュニケーションをとることができてとても嬉しかったです。また、グレートバリアリーフでは美しい自然を感じることができて感動しました。今回の修学旅行にあり、たくさんの方が私たちのために話し合いを何度も重ねてくださったこと、本当に嬉しく思います。初めての海外修学旅行は不安がいっぱいでしたがいろいろな体験ができて本当に良かったです。

笑って終われるように美しい姿で戦おう」のもと、午前中はグラウンドで開催したものの、午後は天候に恵まれずあいにくの雨模様でしたが、綱引きを体育館で行って全競技を実施することができました。結果は、優勝1年1組、準優勝3年1組、3位3年5組でした。どのクラスも、絆が深まり大変盛り上がりました。



## 体育祭

体育祭実行委員長  
3年1組 黒澤 泰輝

今年度の体育祭は、スローガン「勝負笑美戦かつばえびせん」勝っても負けても

笑って終われるように美しい姿で戦おう」のもと、午前中はグラウンドで開催したものの、午後は天候に恵まれずあいにくの雨模様でしたが、綱引きを体育館で行って全競技を実施することができました。結果は、優勝1年1組、準優勝3年1組、3位3年5組でした。どのクラスも、絆が深まり大変盛り上がりました。





## 桜瑛祭記念講演会

桜瑛祭実行委員長

3年4組 佐々木玲奈

9月29日。劇団四季で「ライオンキング」のスカー役等で活躍なさっている卒業生の飯村和也さんを講師にお招きして、「夢に向かって」という演題でご講演いただきました。

飯村さんは、劇団四季の「一音落とす者は去れ」に象徴される厳しい稽古に励みながら、日々舞台上に立ち、観客に夢を与えていらつしやる素晴らしい先輩です。高校在学中は剣道部で、卒業後は大学進学、就職し、それからバレエを習い劇団の研究生になった珍しい経歴なのだそう。夢をあきらめずに挑戦し続け、くじけることなく前向きにがんばった飯村さんのお話を聴いて感動しました。



## 全1学年英語暗唱大会

1年6組 塚越 詩音

11月15日。私は、暗唱大会の順位発表を、自分が1位になることはないだろうと思いつつ聞いていました。発表の時に囁んでしまったその瞬間から、私の暗唱大会は終わってしまったかと思っていました。だから1位で自分の名前が呼ばれたときはとても驚きました。これも、一緒に練習した人達や、より良い発表になるように力を尽くしてくださった先生方のおかげです。感謝してもしきれません。暗唱大会は確実に私の力になりました。

私は3月に開催されるスピーチコンテストにも出場することにしました。そう思えたのも暗唱大会のおかげです。この経験は、これから先忘れることのない思い出の一つになりました。



## 「クリスマス飾り」

ICT委員

1年6組 會澤 恵



ICT委員会で、昨年度初めて実施したクリスマスプロジェクトのプロジェクト

度12月23日に開催しました。動画編集に興味のあった私は、技術の向上に良い機会だと思い参加しました。今回特に気を遣ったのは、「動画ではない」ということです。文字を使うと見づらいためアニメーションを使ったのですが、音楽に合わせて仕上げるのはなかなか難しかったです。最終的には納得のいくものが完成したので、とても良い経験になりました。今回協力してくださった先生方、友達に感謝しています。ありがとうございました。

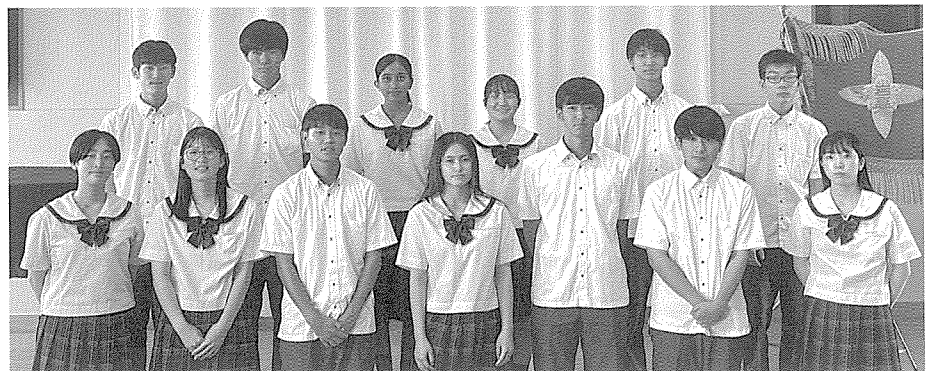


## 生徒総会

生徒会長

2年5組 菊池 香那

12月23日に、生徒総会が行われました。事前に全校生徒に向けて総会で取り上げる議題についてのアンケートを実施しました。今回は実現可能だと思われるものだけを取り上げるのではなく、議題に上がったすべての意見について担当の先生方と話し合い、その結果、可能なことは実現に向けて動いていき、不可能なことは理由を説明し、生徒の皆さんにきちんと理解してもらおうという形で説明を行いました。総会では、生徒会役員だけでなく、生徒の皆さんの協力を得てスムーズに進行することができました。これからも、生徒の皆さんの意見を更に深く受け止めて、可能な限り尽力していきたいと思えます。



## 生徒会役員名簿

役職	クラス	氏名
会長	2年5組	菊池 香那
副会長	2年1組	安澤 慶人
副会長	2年4組	小河原伊吹
書記	2年2組	野村 奏
書記	2年2組	眞崎 茜寧
会計	2年2組	芳賀 百華
会計	1年4組	橋本 明莉
企画広報	2年4組	細谷 長政
企画広報	1年2組	仲見川芽輝
企画広報	1年3組	豊田 想成
企画広報	1年3組	藤咲 拓海
企画広報	1年4組	阿久津茉央
企画広報	1年5組	メンティスビナティ

## 「再開と再生、そして創造を」



校長  
吉田 邦孝

身を切るように冷たかった風は、身を委ねたくなる緩やかな暖かさを感じようになりました。父母と教師の会の皆様方には、本校の教育活動のご理解と多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

毎年発表される昨年の漢字は「税」でした。その理由として、税にまつわるさまざまな法改正や検討が行われたことがあげられています。一方、私の全く個人的な「学校」という教育現場において今年度を代表する一字を考えるなら「再」ではないかと考えています。

「再」に関わる一つとして「再開」があげられます。2019年度末のコロナ禍の始まりとして、学校閉鎖などがありました。当時の私は、なんとかオンライン環境での学習の継続を図るためLMS(現在のCラーニング・GoogleWorkspace)の運用・活用を探っていました。まさに五里霧中の状態にありながらも、私自身は「学び」をしていたように思います。しかし一方で、生徒は知識習得のための学習はオンラインで行っていたものの、学校でしか得ることのできない経験を通した「学習」が消失したことは問題であると認識していました。

そして、ようやく今年度は、多くの制限を乗り越えたことで、特に様々な行事や部活動が本格化したように思います。部活動においても、今までも大会の実施はできていましたが、ほとんどどの種目で、見学・応援ができていなくなりました。私自身、ゴールデンウィークには部活動の大会の応援で会場に入ることができ、選手たちの頑張っている姿に多くのエネルギーをもらうことができました。学校行事においては、文化祭で保護者の方をお迎えし、保護者会の出店もご協力いただくことがで

き、学校の中で生徒と保護者が一体となる景色は、本当に待ち望んだものでした。また、1年生の蓼科キャリアキャンプでは、企業訪問やこんやく作りなどの体験学習を、2年生の修学旅行では、オーストラリアへの海外修学旅行を実施することができました。生徒たちは、様々な人と出会い、そして関わり、多くのことを経験し、今までとはちよつと違う自分を手に入れる「学び」を「再開」させてくれました。そして、経験という「学び」によって生徒が変化していく姿は、私達教職員に、教育に関わり続ける大きな原動力になっていることを再認識させてくれました。

一方で、コロナ以前のことをそのまま「再開」していたわけではありません。「再開」させるにあたり、本質を大切に、コロナ以前のものをより良く作り直す過程、即ち「再生」という過程がありました。人間社会は、これからも個人の幸福とよりよい社会を作るため、既存の事柄についても何度となく壊しては生み出す「再生」を繰り返していかなければなりません。「再生」を通して、これからの時代を生き抜く生徒たちの力を実感できた一年でした。

社会に目を向けると、2023年はChatGPTやBardなどの生成AIの多方面での活用事例が多く、「学び」の意味も問い直されるなど教育の存在意義について議論されることもありました。利用してみようというものは、非常に役立つ存在になっていくことを確信するもの、膨大なネットワークにある知識情報を「再構築」したものであると言えます。知識情報の一つ一つは人間が0から生み出したものです。今のところ生成AIよりも、人間の方が知識情報を生み出す力は高いようです。やはり創造性は人間の持つ最大の能力と言えらると思います。

これからの社会を生き抜く生徒たちのためには、人・知識・思考・機会などをつなぎ合わせる経験を通して成長させ、私たちは人間が持つ創造力を最大限に発揮する人材育成を、今後も続けていかななくてはと強く感じております。

## 「未来に繋がる高校生活」



特別進学1・2学年主任  
国立・特進3学年主任  
長田 光司

「高校時代に先生に教わった頑張る姿勢を忘れずにやっています！」今年の4月から新社会人です。高校で学んだ忍耐力を生かします!!(大学の)テストと課題提出が立て続けにあり少し大変ですが、高校時代にやったことに比べれば少ないと思えて頑張れます笑。お正月に卒業生から届いた年賀状やLINEメッセージの一部です。

特進コースの生徒の皆さんは、勉強中心の生活で大変に感じることもあると思いますが、大学受験を通して培うことができる力は点数化される学力だけでなく、集中心力、記憶力、思考力、計画立案力、自己分析・管理能力、修正力、精神力：と多岐に亘り、これらの力は生徒の皆さんが将来社会の荒波を生き抜く力に必ず繋がると考えています。これからも「未来に繋げる」気持ちをお忘れなく、日々生徒と接していきたいと思えます。

特進1年生は、入学したばかりの桜蔭祭で優勝するという素晴らしいスタートを切り、クラスの団結力を高めながら学習習慣の確立を目指して日々奮闘しています。

特進2年生は、ここ数年にない明るさとエネルギーをもったクラスで、楽しみながら勉強も頑張るという理想的な形を目指しつつ、受験生としての自覚が芽生えてきました。

国立・特進3年生は、最上級生としての落ち着きを持ちながらコースを引っ張り、最後の最後まであきらめない姿勢で大学受験に挑んでいます。

最後になりましたが、保護者の皆様には今年度も大変お世話になりました。担任の時と比べ、保護者の皆様とお会いする機会が少なくなりましたのが残念ですが、生徒が成長し、ご家庭にたくさん喜びをお届けできるように、これからもコース運営に全力で取り組んでいきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## 「一年を振り返って」



日大進学1学年主任  
住谷 司

保護者の皆さまには、一年間ご協力を賜りまして、大変ありがとうございました。私自身、初めて学年主任という大役を任せられ、迎えた入学式に挨拶の場をいただき、入学したみなさんに「自立」「他者理解」という学年目標を掲げさせていただきました。特に、「人を大切にできる」そんな人になってほしいというお願いをしました。みなさんは、この学年目標を達成できたでしょうか。

この一年、毎朝昇降口で、みなさんの登校する様子を見ていました。いつも元気に挨拶をしてくれる姿が印象的で、私自身、みなさんから元気をもらっていました。この明るい挨拶をこれからも継続していってください。行事では、4組が3位、2組が4位に入賞した「桜蔭祭」、卒業生から各学部の説明や就職先の様子を聞きことができた「卒業生講演会」、企業訪問や様々な場所を見学できた「蓼科宿泊学習」、1組が総合優勝した「体育祭」など、行事に一生懸命に取り組む姿が印象に残っています。そして、行事を終える度にクラスの輪が結束し、笑顔が増えていったように感じています。あとは、この勢いを学習習慣に活かしてくれればと思います。次年度の4月下旬には、全付属生が受験する基礎学力到達度テストがあります。このテストに向けて、日々の授業や課外を大切に受けて、成績を向上させていきましょう。引き続き、様々な行事等を通して、生徒一人ひとりが更に成長できるよう支援していきます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

## 「行事の力（チカラ）」



日大進学2学年主任  
井上 隆一

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、学校としても、生徒たちにとっても、レジリエンス（回復力）が求められる年となりました。まずは、保護者の皆様には、学校に足を運んでいただき、徐々に対面の場を増やすことを意識して取り組んできました。6月の桜蔭祭では、各支部による出店も復活し、本来の活気が戻ってきたように思います。10月には、オーストラリア修学旅行の実施が四年振りに叶いました。生徒たちは二つの世界自然遺産を、そしてファームステイでの貴重な異文化体験を、自らの五感で感じる事ができました。アンケートの結果を見ると「人生初」「日本ではできない経験」というワードが多く見られました。現地での笑顔は、間違いなく「過去イチ」（これまでで一番）の笑顔でした。

その後の生徒たちの変化は顕著で、11月の体育祭で盛り上がりを見せ、英検の受験は倍増し、JICAやNPOのイベントへの参加も2年生が中心でした。生徒たちの表情からは、小さな自信すら感じるようになりました。この一年間で生徒たちは目覚ましい成長（回復）を示してくれたのです。それは、何でも吸収できる高校生の時期に行事を通して得られた「経験資産」ではないかと考えています。「経験」↓「自信」↓「行動」↓「人生を変える」です。

次年度は、進路を決める大事な一年になります。保護者の皆様とのパートナーシップを大切に、希望進路の実現を目指したいと考えています。よろしくお願いたします。

## 「初志を省みる」



日大・総進3学年主任  
高村 潤

保護者の皆様には、3年間ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。ここに感謝を述べるとともに、3年間を振り返りたいと思います。

さて、3年前の4月。新入生の代表生徒が、学習や部活動への不安を語るとともに「何事も自ら考え、自ら決断する」と語った様子をしばしば思い出します。生徒たちは、コロナ禍の中、オンライン授業、行事の見送りなど不自由な学校生活を余儀なくされてきました。実際、生徒が自宅待機をしている教室に非常に寂しさを感じる中、中学校でも同様の生活をしてきた生徒が誓った言葉だと思い、とても印象的でした。

私自身は、学年主任として「対話を通し答えのない問題に取り組む」ことを生徒たちにお願し、数々生徒たちと対話をしてきました。また、生徒同士も様々な問題を話し合い、学習課題や社会問題に取り組み成長をしてきました。感染のリスクを極力抑え何とか実施することができた修学旅行では、国内だったことに当初落胆する生徒もみられましたが、震災の建物を見て、ボランティアの方の説明に涙を流し、「津波の恐ろしさを目の当たりにしても衝撃を受けました」と感想を述べる生徒が多々いました。

3年生の進路では、多くの生徒たちがこれまでの経験を活かし、学習を重ね、進路目標を達成しています。「自ら考え、自ら決断する」と生徒が初志を実現した結果だと確信します。

3年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今後の活躍を期待しています。

# 「日々是好日」



父母と教師の会

会長 上野 真紀

「令和がまた新たなスタートを迎えた初日、私は雲ひとつない青い空をひとり眺めている。『今日もいつも通りよ』と言わんばかりに、地上遙かに広がる廣大無辺の空間は、蒼穹の清々しさを放っていた。

既に、南からは神々しいほどの眩しい光がさしている。されど息子の姿はまだない。暗闇からの出口が見つからないのか、それとも吉夢がエンドレスにでも続いているのだろうかかと嫌味の二つも言いたくない。

慣れ過ぎた日々の無限ループのため息が満れた。刹那に、春には姿がないのだと気づく。薄雲にも似た形のない淋しさが、ふと私の心を掠めた。彼が寝ぼけ眼で現れると、いつもの皮肉じみた親子対決が始まった事は言うまでもない。」  
改めまして、時は巡り、紅白に美しく咲く花が、今年もまた、見頃を迎える季節となりました。保護者の皆さまには、一年に亘る本会活動に、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

す。また、吉田校長、諸先生方、役員の皆さまのご助力とご配慮に、心から感謝を申し上げます。

冒頭から作家気取りかよ！とお叱りの声が届きそうですが、打たれ弱い故、お見過ごしただければ幸いに存じます。

その4時間後のこと、繰り返し映し出される緊迫した被災現場、13年前の悪夢が蘇りました。

「ありふれた日常こそが奇跡」ありきたりですが、「毎日」は必ず訪れるとは限りません。そこそが特別であり、奇跡そのものなのかもしれません。そしてそこには、小さな幸せが、必ず隠れているのです。それを、私自身も忘れていました。  
春、次のステージへと進む生徒の皆さん、同じ空の下、戦争や天災で今もなお苦しむ人々も同じ毎日を過ごしています。それを心のどこかに忍ばせておいて下さい。小さな幸せが側にあることに、きつと気づくはず。  
春爛漫、世界が笑顔で溢れますように！

## 「不安、楽しさ」

桜川支部

支部長 小河原文絵

新型コロナウイルスで、学校行事や支部活動に制限があり、子どもたちの楽しみが減りつつある中、今年から4年ぶりに桜瑛祭やオーストラリアの修学旅行など、子どもたちにとって楽しい思い出が作れた一年でした。

桜瑛祭の支部模擬店も出店ができましたが、以前同様の出店方法はできず、役員で一から考え、意見を出し合い、準備を進めてきました。天候に恵まれ、無事に完売することができました。子どもたちの無邪気な笑顔が見られたり、会員・役員同士の交流もでき、楽しい時間でした。

桜川支部役員、会員の皆様、お力添えをいただいた先生方に深く感謝を申し上げます。

支部長を務めさせていただいて、あっという間の一年でした。当初は不安と戸惑いでしたが、大変なこともありましたが、それ以上に楽しい思い出ができました。未熟でしたが一年間ありがとうございました。  
お世話になった皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げますと共に、岩瀬日大高校と会員の皆様の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

## 支部活動を振り返って

下館支部

支部長 坂入 広道

感謝の気持ち込め、一年間の支部活動を振り返ります。

コロナ禍により支部活動を縮小しておりましたが、今年度より桜瑛祭の模擬店出店が復活しました。調理なしという制限での出店は、全員が未経験で不安が錯綜する事前準備でしたが、役員一丸となり無事に実施することができました。保温器を用意しましたが驚くほどすぐに完売となり、成功に終わりました。生徒たちの笑顔も見ることができ、記憶に残る思い出となりました。また、夏祭り巡回指導も実施できました。コロナ禍の中でも節度を持って安全を確保しながらの活動となりました。

一年間の支部活動は、貴重な経験とともに、皆様のお力添えがあったからこそやり遂げることができました。下館支部の皆様には引き続き、ご協力頂きますようお願い申し上げます。このような活動を実現するために、不慣れな私に対してご協力いただいた保護者の皆様、そして先生方に心から感謝申し上げます。最後に、岩瀬日大高校の益々のご発展を祈念いたします。

## 支部活動を振り返って

県西支部

支部長 生井 秀世

支部の役員や会員の方々の支えがあり、無事に支部活動ができたことに感謝申し上げます。

県西支部の活動を振り返ってみますと、大きな活動として桜瑛祭の模擬店出店と地区懇談会がありました。

久しぶりに開催した焼きそば販売が大盛況にて完売となり、桜瑛祭の盛り上がりにより多少なりとも貢献できたと考えております。準備から当日まで関係者のご協力に感謝申し上げます。

また、8月に開催した地区懇談会では、先生方を含め数多くの保護者の方々にご参加をいただきました。会場では、各グループが学校での出来事や部活動、進学に関して熱心に話し込んでいる様子が見受けられ、充実した懇談会になりました。

息子は卒業となりますが、今後も母校発展のために協力させていただきます。最後は、会員の皆様並びに岩日の永遠の発展を祈っております。フレ、フレ、岩日！！

支えてくださった皆様には、この場をお借りし御礼を申し上げます。

## 一年間を振り返って

北つくば支部

支部長 小久保 勲

## 支部活動を振り返って

ときわ支部

支部長 大竹 広美

## 支部活動を振り返って

栃木支部

支部長 久保田 正

# 成人教育研修会報告

成人教育委員長 田村 郷美

息子が岩日に入学し、早いもので3年が経とうとしていきます。1、2年目に、コロナ禍で支部の活動を気にかけていただけ、3年目に大役がまわり、活動に携わることとなりました。

とは言え、前向きに不備のない様に一年間努めさせて頂きました。特に印象に残っているのが、3年目に何とか開催できた桜塚祭です。出店では食品提供の規制があり、調理はできないとのことで、役を引き継いで間もなくの活動でしたが、支部担当の先生方はじめ、役員の方々と試行錯誤しながら、準備、運営し、保護者のご協力もあり、全て完売することができました。2日間とも猛暑でキツかったのですが、生徒たちの活気ある姿も見れ、自分も楽しめ、達成感、人との繋がりを強く感じることができました。この場を借りて、支部活動に携わった方々に厚く御礼申し上げます。これからは天災、人災、何が起こるか分からないこの世の中、時代にあった生徒ファーストの学校行事、支部活動となる事を期待しつつ、岩瀬日大高校の益々のご活躍を祈念いたしております。

令和5年度の活動行事も校長先生を始め諸先生方、役員の皆様、支部会員の皆様のご協力により無事終えることができました。支部活動では、9月に地区懇談会を開催しました。先生方を含め16名の参加をいただきました。懇談会では、日大進学コース、特別進学コースに分かれて行いました。進路相談や学校生活、部活等、熱心な話し合いが行われました。このような保護者と先生の交流は、とても有意義で貴重な時間であると思えました。

私自身この一年支部長という大きな仕事をいただき、責任感も今までになく感じた一年でした。その責任感が刺激となって毎日の生活が充実していたようにも感じます。人と助け合う大切さを痛感した一年でもありました。ご協力いただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に一年間お世話になりました。ありがとうございます。最後に、会員の皆様ならびに岩瀬日大高校の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

制服を着て通学をする高校生達の姿に、数十年前に過ごした自分の時間を思い出しました。夢と希望が満載に詰まっている彼達の姿が輝きを放ち、漲るパワーを放ち、廻りの人に力を与えてくれていました。

栃木支部の活動を振り返ってみると、自信がなく受け継いだ支部長を、全ての役員の皆様方が力を合わせてそつなく運営に尽力してくださり、全ての事業をこなすことができました。4年ぶりに開催された桜塚祭では、素晴らしい生徒たちの催しに負けじと、多数の保護者の方に参加して頂いた模擬店は頗る大繁盛で感激いたしました。懇親会では、コロナの猛威は完全に失せぬにもかかわらず多数の熱心なご父兄の参加にて、情報を共有し、親睦を深めることができ、有意義な時間を体感させて頂きました。

一年と云うものはとても早いものです。十分な役職の活躍はできませんでしたが、栃木支部の役員様達をはじめ、御父兄方のご理解の上で運営終了です。岩瀬日大高等学校での全ての出逢いに「感謝」致します。

11月4日に4年ぶりとなる成人教育研修会を実施いたしました。数年間行われていなかった研修会だったため、参加して頂けるか不安でしたが、受付初日で定員となり、教員3名保護者34名の合計37名で実施することができました。

早朝バスで出発し、最初に向かったホテルインターコンチネンタル東京ベイでは、色彩豊かな目でも楽しめる美味しい料理の数々を思う存分頂きました。

次に、岩瀬日大高校の卒業生も在籍している劇団四季の観劇へ行きました。今回観劇した「アナと雪の女王」は、卒業生の出演作品とは異なりますが、期待以上の演技と圧巻の歌声にプロジェクションマッピングと生演奏が一体となり、すべての人を魅了する感動の作品でした。

感動の余韻に浸りながら、商業と芸能の街である浅草へ足を延ばしました。コロナ禍では考えられなかった賑わいに圧倒されつつ、今も残る昔ながらの下町情緒を味わいながら散策を楽しみました。





ここ数年は、コロナウイルス感染症により、人と集まることのできない日々でした。しかし、今回の研修会では、多くの保護者の方々に参加して頂き、文化芸術や日本の歴史に触れると共に、子ども達や学校のことについて会話をしながら、親睦を深めることができました。このような研修会が今後も実施できる平穏な日々が続くことを願いながら、この研修を企画してくださった保護者の皆様により深く感謝申し上げます。



# 活動大会結果（後期）

	種別・出場者
バドミントン部	<b>茨城県新人大会県西地区予選</b> 【女子学校対抗戦】 準優勝 【女子ダブルス】 ベスト16 川又 琉奈 (1-4) 橋本 明莉 (1-4) ベスト16 桑谷 礼奈 (1-1) 野澤 虹芽 (1-1) 【女子シングルス】 第2位 高平希乃果 (2-5) 第4位 川又 琉奈 (1-4) ベスト8 市川 星来 (2-6) 【男子ダブルス】 ベスト16 木原 光翼 (2-3) 村田 侑翼 (2-6) 【男子シングルス】 ベスト16 木原 光翼 (2-3)
	
サッカー部	<b>茨城県高校サッカー新人大会県西地区代表決定戦</b> 対 茗溪学園高校 5対1 <b>第102回全国高校サッカー選手権大会茨城県大会</b> 2回戦 対 水戸合同 16対0 3回戦 対 水戸桜ノ牧高校 2対1 4回戦 対 東洋大牛久高校 0対4
	
陸上競技部	<b>全国高等学校総合体育大会陸上競技大会</b> 【男子円盤投】第27位 澤 勇氣 (3-5) <b>茨城県高等学校陸上競技新人大会</b> 【男子走高跳】 第8位 萩谷 勇斗 (2-5) 【男子砲丸投】 第8位 坂本 裕星 (2-3) 【男子100m】 出場 久保田陸乃進 (2-3) 【男子走高跳】 出場 大島 耀介 (2-3) 【女子400m】 出場 馬目 結衣 (2-1)
	
軽音楽愛好会	<b>茨城県県西地区高等学校陸上競技新人大会</b> 【女子400m】 第2位 馬目 結衣 (2-1) 【男子走高跳】 第3位 萩谷 勇斗 (2-5) <b>第3回茨城県高等学校軽音楽新人大会</b> 審査員特別賞 (4位相当) Rebel of Fool 雨貝 優杏 (2-1) 野村 奏 (2-2) 岩淵 慶也 (2-5) 飯泉 權斗 (1-3)
	
男子バスケットボール部	<b>関東高等学校バスケットボール新人大会茨城県県西地区予選会</b> 【男子】 1回戦 対 鬼怒商業高校 54対52 2回戦 対 総和工業高校 61対86 敗者復活戦 1回戦 対 古河第二高校 60対67

	種別・出場者
女子バスケットボール部	<b>茨城県高体連バスケットボール県西地区夏季大会</b> 出場 <b>関東高等学校バスケットボール新人大会茨城県県西地区予選会</b> 【女子】1回戦 対 鬼怒商業高校 48対64
	
科総学部	<b>第43回モデルロケット全国大会参加</b> <b>第40回日本大学付属高等学校等文芸コンクール</b> 【詩の部】 佳作 猪瀬 杏奈 (3-2) 【読書感想文の部】 佳作 岡田 留奈 (1-6) <b>茨城県高文連写真部主催WEB写真展</b> 最優秀賞 仙波 悠人 (2-1) <b>日本大学理工学部交通システム工学科写真コンテスト2023</b> 入選「雪国始業」 仙波 悠人 (2-1) <b>下館税務署管内 租税教室推進協議会</b> 会長賞 小野 純矢 (1-2) <b>茨城新聞社主催「第14回新聞感想文コンクール」</b> 【高校生の部】 茨城県教育研究会賞 (6位相当) 橋本 杏奈 (1-6) <b>日本大学付属学校等第42回英語スピーチコンテスト</b> 出場 安藤 綾音 (3-4)
	

## ボランティア部

1月に石川県などに甚大な被害をもたらした能登半島地震の被災者の支援のため、生徒会とボランティア部が中心となり校内で募金活動を行いました。保護者の皆さまからのご支援もいただき、168,276円の義援金が集まりました。集まった募金は茨城新聞社を通じて被災地へ送られました。ご協力ありがとうございました。

ボランティア部は「ひととの繋がりを大切に」をモットーに様々な活動に取り組んでいます。一つの繋がりとして、桜川市の子どもたちを招き、クリスマスイベントを真壁高久家で開催しました。みんなに喜んでもらえる企画や当日の流れなどをすべての運営に携わり、貴重な経験を積むことができました。



## ソーシャルメディア部

ソーシャルメディア部は「新聞部門」「放送部門」そして、今年度より「写真部門」の3部門からなる部活動です。いずれの活動も学校新聞(岩日タイムズ)で、アナウンスや朗読、映像、そして写真で相手に「伝える」活動を行っています。

特に新聞部門では「文化部のインターハイ」と呼ばれる全国高等学校総合文化祭(総文祭)に10年連続11回目の出場を果たしています。前部長の高野晴香さん(3年)は、一昨年の東京大会に新聞部門で、昨年の鹿児島大会では放送部門(朗読)で出場と、2年連続で全国大会に別部門で出場するという本校初の快挙となりました。また、NHK杯全国高校放送コンテスト(朗読)にも3年連続出場しました。

写真部門では、山中琉依さん(2年)が「超ときめき♡青春応援ライブフォトコンテスト」で「審査員超ときめき♡賞」に入賞し、副賞としてアイドルグループ「超ときめき♡宣伝部」のメンバーが本校に来校しました。

## 岩瀬日大同窓会理事会


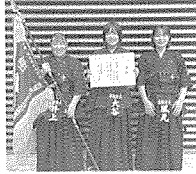

令和5年11月25日(土)、岩瀬日本大学高等学校同窓会理事会を行いました。同窓会ホームページの新設、部活動等の支援についての話し合い、また新旧役員の引き継ぎを行いました。今年度で5名の役員が退任されます。


長い間お疲れ様でした。役員改選により、幸田新会長のもと、新たな組織で動き出しました。





# 令和5年度部

	種別・出場者
卓球部	<b>日大大会</b> 学校対抗 【男子団体】 優勝 【女子団体】 優勝 【女子シングルス】 優勝 新治 舞羽 (1-5) ベスト4 佐々木心結 (2-1) ベスト8 國府田成美 (2-1)
	<b>全日本卓球選手権ジュニアの部茨城県予選会</b> 【女子シングルス】 第2位 新治 舞羽 (1-5)
	<b>茨城県卓球選手権大会ジュニアの部</b> 【男子ダブルス】 第3位 會沢 天我 (2-2) 江幡 晴 (2-4) 【女子ダブルス】 第3位 佐々木心結 (2-1) 新治 舞羽 (1-5)
	<b>茨城県高校卓球新人戦(団体)大会</b> 【男子団体】 学校対抗 第3位 (関東新人大会出場権獲得) 【女子団体】 学校対抗 第4位 (関東新人大会出場権獲得)
	<b>東京卓球選手権大会 ジュニアの部 茨城県予選</b> 【女子シングルス】 第2位 新治 舞羽 (1-5)
	<b>第27回関東高等学校 新人卓球大会</b> 【女子団体】 学校対抗 第4位 
剣道部	<b>第56回茨城県高等学校 剣道勝ち抜き大会</b> 【女子II部 団体】 優勝 【優秀選手】 6人抜き 井上 優美 (2-2) <b>茨城県高等学校新人大会</b> 【個人戦】 第3位 大谷彩葉 (2-1) 第3位 井上優美 (2-2) 
	<b>特別国民体育大会関東ブロック大会</b> 【少年女子】 出場 川田 桃叶 (3-3) 齋藤 綾乃 (3-5)
ソフトテニス部	<b>茨城県高等学校ソフトテニス新人大会県西地区予選会</b> 【男子団体】 優勝 【男子個人】 優勝 星川 航汰 (2-3) 濱野 俊哉 (2-3) 準優勝 秋葉 翔太 (2-2) 小坂 樹 (2-4) ベスト8 永作 亜柊 (2-6) 内藤 洸大 (2-4) ベスト16 矢嶋広太郎 (2-4) 上間千波里 (1-5) 
	<b>茨城県ソフトテニス新人大会</b> 【男子団体】 第3位 【男子個人】 ベスト16 秋葉 翔太 (2-2) 小坂 樹 (2-4) 矢嶋広太郎 (2-4) 上間千波里 (1-5)
	<b>第78回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会</b> 【女子個人】 出場 川田 桃叶 (3-3) 齋藤 綾乃 (3-5)
	<b>茨城県高等学校ソフトテニスインドア大会兼第49回関東高等学校団体選抜ソフトテニス大会茨城県予選会</b> 【男子団体】 第3位

	種別・出場者
ライフル射撃部	<b>全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会</b> 【ビームライフル女子】 第60位 田村 美羽 (2-3)
	<b>茨城県高等学校ライフル射撃競技新人大会</b> 【ビームライフル男子 (40発)】 第12位 大須賀 涼 (2-5) 第16位 都地 陽成 (1-4) 第23位 山見 大智 (1-4) 第26位 畠山 海翔 (1-6) 【ビームピストル男子 (60発)】 第6位 福田 大希 (1-1) 【ビームピストル女子 (60発)】 第3位 田村 美羽 (2-3) 【ビームピストル女子 (40発)】 第1位 萩原 桜和 (1-3)
	<b>関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会茨城県予選会</b> 【男子団体】 第3位 【ビームライフル男子】 第39位 山見 大智 (1-4) 【ビームピストル男子】 第6位 福田 大希 (1-1) 【ビームピストル女子】 第3位 田村 美羽 (2-3) 第7位 萩原 桜和 (1-3)
	<b>第21回関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会</b> 【ビームピストル女子】 第3位 田村 美羽 (2-3)
	<b>関東高等学校 ライフル射撃競技選抜大会 茨城県予選会</b> 第3位 田村 美羽 (2-3) 
	<b>第21回 関東高等学校 ライフル射撃競技選抜大会</b> 第3位 田村 美羽 (2-3)
男子硬式野球部	<b>全国高校野球選手権大会県大会</b> 2回戦 対 土浦一高 11対2 3回戦 対 水城高校 0対4
	<b>第76回秋季関東地区高等学校野球大会茨城県大会</b> 1回戦 対 水戸商業高校 1対8
	<b>第25回結城市長杯争奪結城市近隣高等学校野球大会</b> 優勝 最優秀選手 中野杏汰朗 (2-3)
女子硬式野球部	<b>第27回全国高等学校女子硬式野球選手権大会</b> 対 至学館高校 9対12 (延長タイブレーク)
	<b>第14回全国高等学校女子硬式野球ユース大会</b> 対 神村学園高校 2対7
	<b>栃木市杯第3回栃木さくらカップ2023</b> 対 佐久長聖高校 2対11 対 作新学院高校 5対18
バドミントン部	<b>バドミントン秋季大会</b> 【女子ダブルス】 ベスト16 高平希乃果 (2-5) 市川 星来 (2-6) 【女子シングルス】 ベスト32 川又 琉奈 (1-4)
	<b>茨城県高等学校バドミントン新人大会</b> 【女子学校対抗戦】 ベスト16 【女子ダブルス】 出場 川又 琉奈 (1-4) 橋本 明莉 (1-4) 【女子シングルス】 出場 高平希乃果 (2-5) 市川 星来 (2-6) 川又 琉奈 (1-4) 【男子ダブルス】 出場 木原 光翼 (2-3) 村田 侑翼 (2-6) 【男子シングルス】 出場 木原 光翼 (2-3)

## 活躍する卒業生

## ■三澤 彩香

1997年 茨城県筑西市 出身  
 2013年 筑西市立下館南中学校 卒業  
 2016年 岩瀬日本大学高等学校 卒業  
 2020年 日本大学文理学部化学科 卒業  
 2022年 八千代町立東中学校 赴任  
 趣味：温泉巡り，御朱印集め，ライブ観戦  
 特技：どこでも寝られること  
 近況：夢だった学校の先生になり，忙しい毎日ですが生徒の成長する姿を間近で見ることができ，やりがいを感じています。次の夢を見つけ，その夢を叶えるために日々模索中です！



昨年末，担任の笠倉先生を迎える同窓会にて  
 (写真左端が三澤さん)

## 「人に頼る！」

気がついたときには，教壇の上に立っていました。私の夢は教師になること。その夢が叶った今，私が大切だと感じたことは“人に頼る”です。

人任せ？無責任？とは少し意味が違います。これは，悩んだ時に発動して欲しいひとつの必殺技です。

私が教師の道を目指している途中には，希望する学科の点数に及ばず挫折を味わった時，教員採用試験の面接が不安で苦しい時など，たくさんの困難を乗り越えるために私は家族や先生，友人にたくさん相談しました。私とは違った視点でアドバイスをくれたり，人に話すと悲しみや不安な気持ちが軽くなったりしました。1人の人間の力や考えは，ちっぽけだと思った瞬間でした。

人は，悩みが絶えない生き物です。苦しい時，悲しい時，思う存分周りの人を頼ってください！「話を聞いて欲しい。」その一言だけで十分です。

そして，悩んでいる人がいたら，その時はあなたがその人の頼りになってください！



在学中はチアリーディング部に所属  
 (前列左端)



オーストラリア修学旅行にて  
 (写真中央)

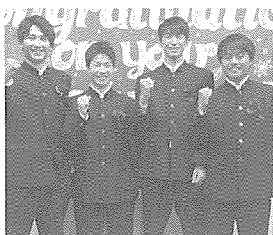
## 「主体的な練習と学習と」

私は，高校時代，ソフトテニス部に所属しており，日々練習に励んでいました。毎日練習で学習時間をなかなか確保できずにいました。そのため，効率の良い学習方法を考え，短期集中能力を身に付けることができ，その結果，自分の行きたい大学，学科に進むことができました。

大学時代は，交通まちづくり工房の国際まちづくりプロジェクトに入りました。この活動に参加したことにより，大学の授業では経験できない，海外での現地調査や，学会での発表などの貴重な体験をすることができました。

現在は，茨城県庁の土木職員として働いています。道路管理を主とし，道路の凹凸やひびなどの修繕を行ったり，住民からの要望を取り入れて改善したりと，たくさんの方が使用する場所に関わっています。このような地域に貢献できる仕事につけたのも，高校時代に効率の良い学習方法，短期集中能力を身に付けることができたからだと思います。

後輩の皆さんには，自分に合う学習方法を見つけ，自分の目標に向かって取り組んでほしいです。



卒業式にて  
 (左から2人目)



## ■ひさまつ 久松 かずま 和真

2001年 茨城県土浦市 出身  
 2016年 土浦市立都和中学校 卒業  
 2019年 岩瀬日本大学高等学校 卒業  
 2023年 日本大学理工学部交通システム工学科 卒業

2023年 茨城県庁 入庁

趣味：スノーボード，ソフトテニス

近況：実業団としてソフトテニスが続けており，たくさんの人と繋がることができました。ソフトテニスを通じて得られることはたくさんあるので，出来るだけ長く続けて行きたいと思っています。



茨城県庁が全日本実業団選手権県予選大会第2位で表彰を受けました (写真前列中央)

# 令和6年度3年生合格先区分別概況

※合格数は令和6年1月31日までの結果です。

## 1. 国公立大学等 合計1名

大学名	人数
茨城大学	1

## 2. 日本大学 合計112名

学部名	人数	学部名	人数	学部名	人数	学部名	人数
法学部	8	芸術学部	2	理工学部	9	松戸歯学部	1
文学部	15	国際関係学部	7	生産工学部	17	生物資源科学部	9
経済学部	4	危機管理学部	4	工学部	24	薬学部	2
商学部	10						

## 3. 私立大学 合計17名

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国際医療福祉大学	1	聖徳大学	1	常磐大学	5	人間総合科学大学	1
札幌国際大学	1	千葉工業大学	1	日本体育大学	2	白鷗大学	1
上武大学	1	つくば国際大学	1	日本保健医療大学	1	山梨学院大学	1

## 4. 私立短期大学 合計2名

短期大学名	人数	短期大学名	人数
佐野日本大学短期大学	1	東京家政大学短期大学部	1

## 5. 専門学校等 合計20名

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
足利デザイン・ビューティ専門学校	1	大原スポーツ公務員専門学校	1	国際テレビ・小山看護専門学校	1	つくばビジネスカレッジ専門学校	2
茨城県結城看護専門学校	1	大原ビジネス公務員専門学校	1	専門学校EIKA International College	2	東京観光専門学校	1
いばらき中央福祉専門学校	1	大宮ビューティ&ブライダル専門学校	2	専門学校国際理工カレッジ	1	東放学園音響専門学校	1
EIKA美容専門学校	1	小山歯科衛生士専門学校	1	筑波研究学園専門学校	2	水戸情報ITクリエイター専門学校	1

## 6. 就職等 合計2名

就職先名	人数	就職先名	人数
株式会社ティ・エス・ケイ	1	笠間市職員(消防職)	1



合格インタビュー動画2024を  
岩日HPで公開中です。

どうぞご覧ください。

出演 田崎由衣那(3-4)

生井 文翔(3-4)

制作 高野 晴香(3-2)



3-1



3-2



3-3



3-4



3-5



3-6





全2学年

# オーストラリア修学旅行



## 編集後記

「桜真」57号をお届けします。今年度は、新型コロナに加えインフルエンザなどの感染症の心配はありましたが、4年ぶりに、1年生は蓼科宿泊学習、2年生はオーストラリア修学旅行へ行くことができました。蓼科宿泊学習では、企業訪問やこんにやく作り体験等を通して歴史や職業について学び、文理選択や進路を考える良い機会になったと思います。修学旅行では、ファームステイを通して文化の違いやコミュニケーションの取り方、生活の様子などを知ることができ、貴重な体験となったのではないかと思います。

どちらも、ここ数年人と会うことや行動を制限され我慢してきたこともあり有意義な時間だったのではないのでしょうか。

3年生は、切磋琢磨してきた部活動を引退し、受験、そして卒業を迎えます。岩日で学んだこと、先生や仲間との絆を大切にしていたら、今後の輝かしい未来をお祈りいたします。

発行にあたり、ご寄稿にご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

広報委員長 赤城真由美  
(北つくば支部)